

# 政文研だより

一般社団法人  
神奈川政経文化研究会

## 【活動報告】

河野太郎講演会・春の陣  
令和8年4月25日（土）

受付開始 18:00

講演開始 18:30

場所：グランドホテル神奈中

※ご参加いただいた皆様ありがとうございました。



## 継続のお願い

会員の皆様いつもありがとうございます。  
当会は、会員の皆様の会費によって、活動が支えられています。

年度が替わりましたので、5月に継続のお願いの便りをメールにてご連絡いたします。

引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ※今後の活動予定

9月、11月、3月に勉強会を企画したいと思っております。

## 【地域の情報】

### 「軍都・平塚」海軍火薬廠の跡地

火薬廠跡地は、戦後各種の公共機関や学校、総合公園などとして利用されるとともに、自動車・化学関係の工場ができて戦後の経済発展を支えてきた。一部には往時の「火薬廠の塀」の名残も残っている。

②⑥⑧写真は現在の様子です。

#### 軍都への道



平塚への軍需工場の進出は、大正8年（1919）の海軍火薬廠の開設に始まります。その後大正12年には、海軍技術研究所研究部が開設。そして、戦争の激化にともない昭和12年（1937）に日本航空工業（日本国際航空工業）、同16年に横須賀海軍工廠造兵部工場、同17年に横須賀海軍工廠造機部工場と第二海軍航空廠が開設されました。

また、民間軍需工場には、二荒航空工業や近江航空工業もあり、海軍兵器工場や航空技術開発の研究機関と工場が集中する都市に発展しました。



②⑥ 高栄産業の外壁  
火薬廠の塀が残る。



②⑧ 富士チタンの中には火薬廠を象徴する大きな三本の煙突があった。このきり屋根の工場が往時をしのばせる。



②⑩ 東官舎と共済病院の間の道  
火薬廠時代の鉄筋入りのコンクリート柵が残る。

拝啓 春暖の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。新年度を迎え、それぞれの現場において新たな決意とともに歩みを進められていることと拝察いたします。日頃より当研究会の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

## ■ 世界情勢の不安定化と経済への波及

世界情勢は依然として不透明さを増しております。中東情勢の緊迫化、ウクライナ問題の長期化、そして米中対立の構造的な深まりは、エネルギー価格や物流、為替に直接的な影響を及ぼしています。特にエネルギーを巡る国際的な需給バランスの変動は、我が国の産業基盤に大きな影響を与えています。資源に乏しい日本にとって、外的要因による価格変動は避けられない現実であり、その影響は企業活動の根幹にまで及んでいます。

## ■ 石油製品高騰と建設産業への影響

現在、国内における石油製品の価格上昇は、建設産業にとって看過できない重大な問題となっています。アスファルト合材、重機燃料、運搬コストなど、あらゆる工程においてコスト増が発生しており、現場の収益を圧迫しています。

とりわけ中小建設企業においては、価格転嫁が十分に進まない中で、利益が削られる構造となっており、経営の安定性にも影響が出始めています。公共工事においても、適切なスライド条項の運用や単価見直しが不可欠であり、行政との連携や業界としての声を上げていく必要があります。

この問題は一企業の努力だけで解決できるものではなく、業界全体、そして国としての対応が求められる局面に入っていると感じています。

## ■ 新拠点「黒部館」と学びの場の再構築

さて、当研究会は2026年6月、平塚市黒部丘に新たな拠点を構えることとなりました。

その名も「黒部館」とし、湘南における政経文化の交流拠点、いわば“サロン”として機能させてまいります。

これに伴い、これまでオンライン中心で行ってきた活動に加え、15名程度の少人数による対面型勉強会も復活させてまいります。より深い議論と人のつながりを大切に、質の高い学びの場を創出していく所存です。

ぜひ、今後の展開にご期待ください。

## ■ 会員の皆様へ 中小企業こそ国の土台

最後に、会員の皆様へ改めてお伝えしたいことがあります。

「中小企業が儲けなければ、国民は豊かにはならない」

どれほど世界が変動しようとも、地域に根差し、雇用を守り、事業を継続しているのは私たち中小企業です。現場で踏ん張り続けるその姿こそが、日本の経済を支えています。

だからこそ、今こそ声を上げ、知恵を出し合い、そして一歩でも前に進んでいきましょう。孤立するのではなく、つながりの中で乗り越えていくことが、これからの時代において何より重要です。

新年度のスタートにあたり、皆様のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。

本年度も一般社団法人 神奈川政経文化研究会を、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

敬具



令和8年4月吉日

一般社団法人 神奈川政経文化研究会  
代表理事 今村 佳広